



議会だより

# わどまり



第164号



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。

## CONTENTS

こんなことが決まりました	2P
議会討論・委員会活動報告	3P
7名の議員が町政を問う	4P
奄美群島市町村議会議員大会	10P
要望書提出・各種報告	11P
絆のバトン・編集後記	12P

令和6年 第2回 定例会(6月11日~14日)

議案等番号	件名	議員名(議席番号順)											議事結果
		山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一	
報1	繰越明許費に係る繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報2	繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
請1	世之主城跡二の郭修復に関する請願書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択
陳4	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2025年度政府予算に係る国への意見具申について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択
陳5	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る国への意見具申について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択
陳6	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	採択
請2	総合交流アリーナの建設事業の推進について	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	採択
承3	専決処分の承認を求めることについて(和泊町税条例の一部を改正する条例の制定について)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
承4	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町一般会計補正予算 第11号)	◇	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	不承認
承5	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算 第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
承6	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町介護保険特別会計補正予算 第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
承7	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算 第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
承8	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町奨学資金特別会計補正予算 第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	承認
議28	和泊町辺地に係る総合整備計画の変更について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
議29	和泊町過疎地域持続的発展計画の変更について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
議30	工事請負契約の締結について(防災行政無線更新工事)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
議31	工事請負契約の締結について(内城小学校校舎改修工事)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
議32	令和6年度和泊町一般会計補正予算(第1号)の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議33	令和6年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
議34	令和6年度和泊町下水道事業会計補正予算(第1号)の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	原案可決
発1	世之主城跡二の郭修復に関する請願書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
発2	義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
発3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
発4	ガザ地区の即時停戦のための積極的な外交を政府に要求する意見書の提出を求める意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
発5	総合交流アリーナの建設事業の推進について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
	議員派遣について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	可決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決(賛成・反対の意思表示)権はありません。

## 賛成反対がわかれた案件

### 【請願第2号】総合交流アリーナの建設事業の推進について(賛成8 反対3)

〈反対討論〉 財源や財政状況が整った上で、早期に建設すること自体は賛成。進行中のプランも決定ではなく、様々な条件をしっかりと検討し進めていくものである。請願の内容には、現在の町の取組みに逆行し着工の遅れやコストの増大に繋がる懸念があるものが含まれ賛同できない。

川畑宏一議員

〈賛成討論〉 是非早めに作ってほしいとの要望なので、確実に受け取って賛成したい。具体的に長寿クラブ・地域女性連絡協議会・バトミントン連盟と団体名で出ているので、私は賛成するべきだと思う。

池田正一議員

### 【承認第4号】専決処分の承認を求めることについて(令和5年度和泊町一般会計補正予算 第11号)(賛成3 反対8)

〈反対討論〉 人間誰しもミスはあると思うが、最近本町の事務ミス等は多発していると感じている。交付金の事務誤りで5,100万円の損害は本町にとっても重大な損害であり、民間企業であれば即倒産等にもつながること。町長・副町長・総務課長の監督責任は重大であり、厳正な対処をしていただきたい。

池田正一議員

〈賛成討論〉 なし

## 経済建設常任委員会 現地調査報告

日時 令和6年5月21日(火) 場所 豪雨災害現場、実験農場

4月14日から15日にかけて最大時間雨量63mmを記録。豪雨による農地農業施設の被害状況と復旧状況の現地調査を行った。被災件数17件のうち、14件は多面的機能支払交付金事業で対応協議中。3件については、災害復旧事業では、設計業務委託費が高額のため町単独事業での復旧を検討中。同日、実験農場の運営状況調査を行った。主な取り組みとして、スマートフラワー向け秋スプレーグクの品種選定試験、スマート農業の推進として自走式散水機の導入、新規品種としてカボチャ、トウガラシの導入試験、にんにく種苗生産供給、自給野菜(玉ねぎ、オクラ、トマト、ナス、キュウリ、スイートコーンなど)の実証栽培。また、技連会と連携し、各専門部会ごとに種々の実証試験やふるさと納税返礼品の多様化に向けた(マンゴー、パッションフルーツ、ユリ球根)栽培。土づくり推進事業として土壌診断。新規就農者や担い手農家へのほ場の貸し出しなど、多岐にわたる業務を少数精鋭で行っていた。



▲豪雨災害現場



▲実験農場

## 脱炭素先行地域事業調査特別委員会 委員長報告

環境省に当初提出された計画は、机上の空論の上に建てられた現場に落とし込めない調査不足な計画であったが計画変更の結果、実証実験のスタートラインに立てる計画となった。

### 1. 主な計画変更内容

- ①資本的に町と関わらない新電力会社が設立され、事業主体とする事により、財源(過疎債)と将来の課題となりうる直接経営(第三セクター)をクリア。
- ②電力の小売りをやめて、自家消費型に変えることで離島ユニバーサルサービス制度を継続して利用することと需要家として公共施設に限定することで、新電力会社の長期的な安定した事業計画を新たに設定。
- ③一般的なインバーターに遠隔で出力抑制可能な通信機器を取り付ける事、システムをサポートするインバーター(DGR)によりブラックアウトと下げ代問題を解決。

上記3つの問題があるが、あくまで計画見直しであり実験である。やってみなければ分からないことであり、引き続き議会の注視が必要である。

### 2. EV車に関して

技術的に発展途上にあり、高価格である。公用車の切り替えも前のめりにならず、情報の収集に努め慎重に進めるべきである。

# ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和6年第2回  
議会定例会

- ひがし ひろあき  
● 東 弘明 議員  
未来農業への  
百年安心プラン……………P4
- やまくち あすか  
● 山口 明日香 議員  
喜ぶ笑顔がみたいから  
……………P5
- こだま さねたか  
● 児玉 実隆 議員  
町の農業  
……………P6
- いけだ しょういち  
● 池田 正一 議員  
和泊町の未来へ、  
挑戦戦略を……………P7
- やました ゆきひろ  
● 山下 幸秀 議員  
水道事業の  
運営と道路行政……………P8
- かわばた こういち  
● 川畑 宏一 議員  
DXによる行財政改革  
の推進を……………P9
- なかだ たかひろ  
● 中田 隆洋 議員  
未来創造豊かな島へ  
……………P10

## 一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



## 未来農業への百年安心プラン



ひがし ひろあき  
東 弘明 議員

### 農業政策

**問** 実験農場を鹿兒島県の農業試験場にできないか。

**答** 実験農場の運営については、実験農場運営委員会において、事務局より提示した活動実績及び活動計画について委員に審議並びにご提言をいただき、それに即して種

**問** 塩道・逢久地区の畑かん更新事業は出来ないか。

**答** 平成9年度に団体営事業が完了した地区で、チューブ灌水を行う設計となっており、現在は施設として機能していない状況と聞いている。

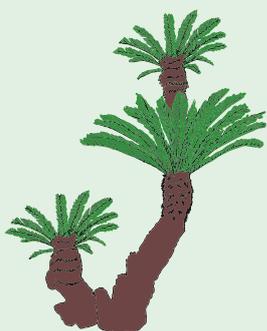
土地改良事業実施には、地

**問** 基盤整備後の表土流出の対策はどうするのか。

**答** 多面的機能支払交付金事業（通称水士里サークル）によって、水路や沈砂池の土砂上げが可能となっているため、大雨で流出した土砂をほ場へ搬入する考え方もできると思うが、地域で話し合っ

**問** ソテツを加害する外来力イガラムシの防除対策について。

**答** 現時点において、奄美大島以外に本種の生息及び本種による被害の確認はされていない。本町においては、今後被害が確認された場合、県の指針に従った対応を行う。



喜ぶ笑顔がみたいから



山口 明日香 議員  
やまくち あすか

子育て支援

問 出産祝い金の支給は。

**答** 出産祝い金に代わる支援として、乳児用品の購入に係る助成事業・医療費の助成・島外医療を必要とする場合の旅費助成・多子世帯への保育料の軽減など、子育て世帯への継続的な支援を行い、経済的負担の軽減を図っていく。



問 保育所における産休終了後の継続利用は。

**答** 現在、保育所及び子ども園において、産後8週間経過後、保護者が就労又は育児休業中で、該当児童が既に保育所又は子ども園を利用しており、引き続き保育を希望する場合、受け入れる保育所又は子ども園において配置基準保育士の定数等に問題なくお預かりできる限り、継続した保育を実施している。

問 病児・病後児保育事業を利用しやすく改善できないか。

**答** 現在のところ、本事業についての要望等は委託先にも届いていないが、今後、改善へ向けた要望等については、委託先と調整を図り、適切に対応していく。

問 多子世帯への支援は。

**答** 現在、保育所及び子ども園を利用した場合の保育利用料において、第2子以降の利用者負担が軽減されるなどの支援があり、多子世帯を対象とした保護者の負担軽減が図られていると考える。今後も、多子世帯に限らず全ての世帯に対し、経済的支援に限らない適切な支援を行っていく。

問 子育て世帯向けの防災備蓄品の備蓄状況は。

**答** 子育て世帯向けの防災備蓄品として挙げられる「粉ミルク」「子供オムツ」の備蓄はしていない。



問 学校制服の必要性は。

**答** 学校制服のメリットは、①みんなが同じ服を着ることで平等間や一体感・連帯感が生まれる②身だしなみを整え、どのような場面でもきちんとした服装でいられる③服装選びで迷うことなく、時間の節約になる④愛校心や仲間意識が高まるなどの心理的効果が期待できる⑤多くの私服を購入しなくてもよいことや兄弟・親せき・知人友人などからのお下がり等で済むなどがある。児童生徒は「制服」を基本とし、天候や個人の体調等の理由に配慮して、ポロシャツや防寒着・ズボン等の着用も認める等、状況に応じて柔軟に対応している。



町の農業



こたまた さいねたか 児玉 実隆 議員

農業振興

**問** 農業経営悪化に支援は。

**答** 近年、「肥料・飼料・燃料等」の高止まりにより、農業経営に悪影響を及ぼしており、本町においては次のような対策を実施。

糖業は、農薬購入額の2割を助成する事業を継続して行っているほか、令和5年新植夏植えに対し国庫補助事業を活用し、元肥及び追肥の購入金額の3分の2を助成。また、さとうきび生産振興事業を活用し、地力増進へ向けた堆肥散布の半額助成等を行っ

ている。

輸送野菜は、令和5年度に化学肥料低減定着対策事業とし、対象肥料1袋（20kg以内）あたり2000円の助成をしており、全体で1万6千396袋・327万9千円の支援を実施。

畜産は、令和6年1月に肉用子牛配合飼料価格高騰対策事業として3712万2千円を畜産農家へ交付。また、地域資源フル活用飼料増産対策事業により47万9千円を7戸の畜産農家へ交付。今年度も地域資源フル活用飼料増産対策事業を活用し、粗飼料増産及び増収に向けて取り組む。今後、肥料価格等の推移や国の事業等を注視しながら、生産者が経営意欲の向上につながる対策を実施していく。

自主財源の拡充

**問** 宿泊税の導入は。

**答** 令和5年は8万526人前年比約22%増となっているが、コロナ禍以前の令和元年の入込み客数9万959人と比較すると、約88%となっており、回復傾向ではあるものの旅行者の回復にはまだまだ時間がかかるものと考えているため、現在「宿泊税の導入」は予定していない。

観光地整備

**問** 南洲橋東側歩道の建設は。

**答** 南洲橋周辺は、西郷南洲記念館や南洲神社、商店街もあり本町の重要観光地域であるため、側道橋の設置は利便性の向上と観光振興にも繋がる手段であると考える。

しかしながら、新たな側道橋の架設工事は多くの予算を

必要とすることから着工時期については検討中。他の道路整備路線と予算調整の上、予算の平準化を図り執行できるように検討していく。



▲南洲橋周辺

和泊町の未来へ、挑戦戦略を



池田 正一 議員

総合戦略

**問** 「人口減少と少子化」から、課題と対策をどのように考えているか。

**答** 広報誌わどまり5月号では、和泊町の人口が2050年には4千人程度、小中学校の生徒数は322人程度になるという予測数値。今年度、和泊町総合戦略の改定に合わせて人口ビジョンも改定予定のため、人口減少・少子化対策についても方を議論していく。

**問** 「経済と産業」から、農業立町和泊において、農業人口の減少、一人当たりの耕地面積拡大の見込みとあるが、耕作放棄地への対策は。

**答** 地域の将来の農業のあり方、将来の農地の効率化かつ総合的な利用に関する目標等を定める「地域計画」の策定が義務づけられ、本町においても令和5年度、全21字で話し合いを開催し、本年度も策定に向けた話し合いを実施し令和7年3月策定予定。10年後の農地利用のあり方を示した目標地図を含む「地域計画」を策定・実行することで、本町農業の基本理念である「温暖な気候を活かした複合経営を基本に持続性の高い和泊農業の確立」を推進し、担い手の確保及び耕作放棄地の減少に努めていく。

**問** 「医療と福祉」から、医療・福祉従事者不足は喫緊の課題であり、介護受給者数はこれからさらに増える見込みだが、対策は。

**答** 持続可能な町づくりにおいて、医療や介護が必要となったとき適切なサービスが受けられる地域包括ケアシステムを維持する必要があるが、システムを担う介護等の従事者不足が生じている状況。現在、グループホーム等居住系サービスや在宅サービスへの影響は限定的だが、大規模な入所施設で、従事者不足により入所者の制限を設けている。今後の対策として、疾病や介護予防、重度化防止を図りつつ、医療・福祉の事業者と連携を密にし、人材確保の支援に努めていきたいと考えている。

議会を傍聴してみませんか

議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

定例会は、年4回(通常3・6・9・12月)、また必要に応じて臨時会を開催することもあります。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができます。お気軽に議事堂にお越しください。

お問い合わせは、議会事務局(92-2569)まで



次回定例会・・・10月8日(火)～15日(火)予定

※本年9月は議員改選のため、定例会日程が変更となる場合もあります。

水道事業の運営と道路行政



やました ゆきひろ  
山下 幸秀 議員

水道事業

**問** 法定耐用年数を迎える越山配水池の整備は。

**答** 越山配水池は、昭和40年（1965年）に建設され令和7年度に耐用年数である60年目を迎えることになる。施設の延命化を図るよりも新設の方が効率的であるとの判断から、今後は施設建設に向けた計画策定に取り組む。



▲越山配水池

**問** 後蘭・永嶺・谷山の原水において水質や取水量に問題はありますか。

**答** 水質検査については、年1回38項目検査と年4回指標菌検査を実施している。取水量は1日平均2千822<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、有効水量が1千773<sup>3</sup>m<sup>3</sup>となっており、水質・水量共に問題は無いと考える。

**問** 町内全域において水質や水圧に問題はありますか。

**答** 年3回の水質管理検査項目25項目検査を行っている。合わせて年に1回年間使用量の多い農薬及び有機肥料の主成分20項目検査についても実施している。

水道事業については町民の命を守る生活用水として運営を行っていることから、今後も引き続き水需要に対して、安定的に供給できるように、施設の維持管理に努めていく。

道路行政

**問** 根折・与和線において通学路の歩道整備が必要だと思うがどうか。

**答** 玉城字から根折字、大城小学校から古里字までは、歩道が無いことから通学路の安全対策として令和5年度と6年度で路肩にカラー舗

装を計画・実施中。歩道整備は、地域からの要望と用地買収等を含めた合意形成が必要で、連携しながら検討する。

**問** 豪雨による根折地区の大崩壊している被災箇所への復旧工事はどうなっているか。

**答** 根折字内の町道と根折線の路肩が崩壊し、道路下ほ場までの直高が5m以上あり、側溝や擁壁の破損が28mにもわたる大規模なものとなっている。復旧工事に向けてしっかりと手順を踏んで早期復旧に向けて取り組む。



▲根折の町道崩壊現場

DXによる行財政改革の推進を



かわばた こういち  
川畑 宏一 議員

住民サービスの向上

**問** DX化の進捗状況は。

**答** システム等の導入に加え、民間企業よりデジタル専門人材を招聘予定。また、業務量及びフロー調査を実施し、システムの選定・導入や適切な人員配置を行い、効率的な行政運営を推進。

**問** 採用や新規職員教育の取り組みは。

**答** 採用試験の時期や会場を工夫しキャリア採用も実施予定。新たに指導要領を定め新規職員の内定から試用期間終了までの教育を行うほか

「職員のしおり」で心構えを示している。

**問** 和泊町の求める人材は。

**答** ①全体の奉仕者として、公平公正な言動に心が

け、親近感が感じられる職員であると同時に、信用失墜行為の防止や服務規律の厳正確保、綱紀粛正を遵守し、法令遵守と説明責任を常に意識した職員。②和泊町役場職員として、職員間の緊密な連携により組織力を高め、柔軟な発想・創意工夫により、本町にある地域資源や地域特性を磨き上げ、自ら考え・気付き、住民の視点に立ち「町民の福祉向上と町の振興発展」を常に意識しつつ、仕事に対する熱い情熱と使命感や向上心を持ち学び続ける職員。③町民として、字や地域の活動等に

積極的に参加し、町民一人ひとりの暮らしの質や満足度を向上させ、世代や性別・人種を超えて全ての町民の皆様と全力を挙げて地域振興に取り組むことを意識し、地域の皆様に愛され信頼される職員。

持続可能な町づくり

**問** 人口減少による影響は。

**答** 商工業の経営悪化や公共施設維持管理費用の負担増、各集落でのコミュニティ活動減少による地域の連帯感や結束力の衰退の他、様々な影響が予想される。

**問** 財政運営への影響は。

**答** 税込減少や、地方交付税算定の基礎数値に影響を及ぼす可能性がある。社会保障費やインフラおよび各種公共施設の老朽化に伴う維持管理費が増加見込み。

**問** 高齢者および障害者福祉の課題は。

**答** 医療や介護の専門職不足により、疾病・介護予防や重度化防止を図りつつ事業所等と連携し人材確保を行い、安心した生活が送れるよう障害者入所施設等の開設に向けた支援に努める。

町政運営

**問** 町長の推進する施策の成果は。

**答** 総合振興計画の推進、奄振交付金による沖縄本島への輸送コスト支援事業や離島割引運賃の拡充、脱炭素先行地域の採択及び事業推進、こども未来課の設置、地方創生臨時交付金を活用した感染症および経済対策、児童生徒の島外遠征費の助成拡充、財政指数の改善、町民ニーズに沿った重点新規事業(21事業)の展開など。



なかだ たかひろ  
中田 隆洋 議員

人口減少

**問** 人口戦略会議の公表をどのように捉え、対策を講じていくか。

**答** 公表結果においては様々な要因があるので、分析する必要はあるが、「社会減対策」について、第6次和泊町総合振興計画の「まちゆんどプロジェクト」により、島の若者が将来島に帰って来なくなる環境作りに取り組んでいる。今後この取り組みをさらに強化して「社会減対策」における1つの柱にしたいと考える。

新たな国土強靱化基本計画

**問** 新たな地域強靱化計画の策定を進めていくか。

**答** 国の国土強靱化基本計画は令和5年7月に更新し、県は今年度更新予定としている。本町は、国・県の見直し状況、和泊町の特徴を踏まえ、更新していきたい。

また、国土強靱化地域計画に基づき実施される支援メニューは多岐にわたるものであり、本町としては最大限活用できるように注視し、準備をする。



■第65回奄美群島市町村議会議員大会

令和6年4月23日(火)、大和村(大和村体育館)において「第65回奄美群島市町村議会議員大会」が開催されました。

和泊町・知名町・与論町においては、3町を代表し、与論町議会環境経済建設常任副委員長の原議員が提案理由の説明を行いました。

【和泊町・知名町・与論町】提出議題

◎空港及び港湾並びに漁港施設の機能強化について

● 全国町村議会議長会表彰 ●

○町村議会議員として27年以上在職

議員 山下 幸秀

(在職年数27年)



## 長寿クラブ連合会・地域女性連絡協議会を含む 12団体が要望書を提出

6月28日、長寿クラブ連合会・地域女性連絡協議会を含む12団体から交流施設事業の早期建設を求める要望書が提出されました。長寿クラブ会長からは、和泊町には施設がなく他市町村と比べると遅れている町になっており、早期建設を要望するとありました。総合振興計画の重要施策であり、議会も推進できるように尽力していきたい。



## 請願(陳情)ってなあに？

町民の皆さんから、国や県、町の行政などに対する意見や要望を文章(請願書・陳情書)で町議会に提出すること。

和泊町議会は、請願及び陳情を町民による政策提言と位置づけています。

請願については、紹介議員が必要で、提出された請願書は関係する常任委員会等で審査された後、本会議で採決されます。町だけで対応できない問題は、国などに意見書として送付します。

◎採択された場合、一般的に議会の意見として各関係機関に意見書の提出や要望することができます。

興味のある方はホームページもご覧ください。→



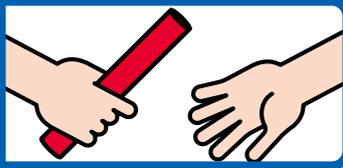
## ボランティア活動報告



6月26日(水)、わどまり保育園において木の伐採・園庭の草刈り等を行いました。



町民エッセーレ  
絆のバトン



60歳の定年を前に老後について考えた時、毎晩午前様を続けた自分には東京以外の選択は無いはずでしたが60を過ぎて上海に貿易会社を興す事になり、子育てを終えた家内は島に一人暮らす高齢の母と同居を選択、留守宅は未婚の次女に依頼しました。

コロナ禍で在上海10年となった一昨年末に帰国制限の緩和を機に帰国したのですが老後計画に見直しが発生し、結婚した娘夫婦に自宅を任せ、緊急避難のつもりで4月に沖永良部に移住しました。

当初は都会生活に浸りきった身が島の暮らしに慣れるか様子見のつもりでしたが、青く澄んだ空と海、良く手入れされた家々の庭や道端にも季節毎に花が咲く自然環境、子供から大人まで会う人が挨拶をしてくれる温かい人間関係、高齢者がスポーツや舞踊に積極的に参加出来る環境に不安は消えました。

そしてグラウンドゴルフやジムで運動の後タラソのサウナで汗を流すのが日課となり毎日が健康的でストレスなく過ぎ

ていくのを実感し昨年末、住民票を移動し正式に島人になりました。

今は周囲の皆さんに溶け込める様に長寿会と釣りクラブに入会、太極拳・古典太鼓の習い事や、字の清掃活動やグラウンドゴルフコースの整備など奉仕活動に参加しております。なかでも大城小学校のサタ小屋の茅葺かえ作業のお手伝いは貴重な体験でした。

東京に居たら一日中テレビやパソコンに時間を費やしていたことでしょう。

島に来て間もない頃にアイタンの先輩から受けた助言が”アウェイ亭主の家庭円満の秘訣は何事も奥さんの言う通りに”だそうで不承不承実践して一年が経ちますが、今後も「老いてはかみさんに従え」を肝に銘じ二人仲良くのんびりと暮らして行きたいと思っています。



プロフィール

小林 茂 さん(72歳)  
晴美 さん(70歳)

東京都出身。名古屋の設備メーカーに就職、東京支店にて海外向け営業に従事。60歳で上海に貿易会社を設立、10年後の2022年末に帰国し昨年4月より沖永良部根折に移住。

編集後記

令和6年第2回定例会が閉会致しました。現在の議員構成で最後となる今定例会においては、7名の議員が一般質問を行いました。この4年間、議会だよりを通じて町民の皆様には多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。皆様と共に和泊町・沖永良部島の未来のために力を合わせていければと思います。今後とも和泊町議会をよろしく申し上げます。文責／山口 明日香

委 員	委 員	副 委 員 長	編 集 委 員 長	編 集 責 任 者	議 長	発 行 責 任 者
山 口	森 玉	児 田	島 浩	野 利	永 則	
明 日 香	富 隆	実 隆	浩 樹			

今号の表紙



第65回大島地区大会グラウンドゴルフに出場される和泊町代表メンバーです。昨年度は優勝し、今大会2連覇を目指して研修センターグラウンドで日々練習しています。チバティタポリヨ〜！